

# 乙女高原ファンクラブ 年次活動報告 2008 ダイジェスト版 2008.3. ~ 2009.2.

## こんな1年間でした

1. 1年間で20名の入会者があり、現在、会員は572名です。
2. 年間計画に沿って23の活動を実施しました。参加者数はのべ1253人でした（2004年度:811人、2005年度:1200人、2006年:1378人、2007年:1344人）。
3. 第9回遊歩道作りは季節はずれの雪のため1週間延期しました。
4. 年3回のマルハナバチ調べ隊を行うのは6年目となりました。
5. 新規事業としてアサギマダラ調べ隊に取り組みました。6,7月に会員限定で卵・幼虫調査、8月に2回マーキング調査を行いました。乙女で印を付けられたアサギマダラが兵庫県と高知県で再捕獲されました。
6. 第4期乙女高原案内人養成講座を行い、19人が新案内人として登録されました。
7. 牧丘第二小、第三小、塩山高校、東京私学教育研究所、ことぶき勸学院等、団体から活動紹介や高原案内・環境教育の依頼がありました。
8. 今年も夏の土日を中心に乙女高原案内人の皆さんが交代で乙女高原の案内をしました。のべ17日間に、のべ117人の案内人が、348人もの方々を案内しました。
9. 第9回草刈りボランティアは3連休の中日にも関わらず、218名が参加。
10. 第8回乙女高原フォーラムには88名の参加者があり、「シカが乙女高原の自然を変える？」をテーマに、奥多摩地域でシカによる植生変化を研究する東京農工大・星野義延さんのお話を中心に行いました。
11. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展を行いました。
12. 石和サティより「幸せの黄色いレシートキャンペーン」として捕虫網など活動で使う備品をいただきました（30,800円相当）。
13. (株)田丸グリーン基金より5年連続で協力参加費をいただきました。この資金を活用し、「乙女高原のお花たち」パンフレットの増刷を行っています（20万円）。
14. 全労済より「地域貢献助成事業（環境分野）2008」の助成金をいただきました。助成案件は「乙女高原における環境保全・環境教育活動」です（30万円）。
15. 計11回の世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を行ったりしました。そのうち何回かは共催事業の実行委員会を兼ねて行い、山梨県・山梨市の担当者も交え、企画を練ったり、実施後の反省を共有したりしました。
16. 会報「乙女高原が好き！」を年4回発行しました。
17. メールマガジンを年9回、配信しました。
18. サイト情報をこまめに更新しました。「乙女高原フィールドノート」というブログを立ち上げました。
19. 中型ほ乳類（テン）の糞サンプリング調査を継続しました（3年目）。
20. 遊歩道づくり、草刈りボランティア、フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。

# 1年間のおもな活動の足跡

3/16 2007年度定期総会



町総合会館を会場に行われました。出席25名。委任状96名。  
総会後の第6回座談会は話題提供者として榎形山森林科学館の石原誠さんをお願いし「シカのウンチから植生を考える？」をテーマに行いました。

5/18 第9回遊歩道作り



5月11日に予定していましたが、季節はずれの雪のため中止。翌週の18日に行いました。参加者69名。作業後、(株)田丸グリーン基金より活動協力費贈呈式が行われました。(写真はロープ結び研修の様子)

5/21 塩山高校の総合学習で乙女高原とファンクラブの取り組みを生徒に説明



塩山高校以外にも、牧丘第三小学校(5月30日)、牧丘第二小学校(7月3日)の自然教室で、児童の皆さんに乙女高原の案内を行い、学校支援(環境教育)を行いました。

5/25 第4期乙女高原案内人養成講座 第1日目



受講者20名。スタッフ19名。開講式後、先輩案内人と一緒に乙女高原を歩いたり、インタープリテーションの講義や案内人によるパネルディスカッションを聞いたりしました。

6/15 第4期乙女高原案内人養成講座 第2日目



受講者19名。スタッフ14名。「乙女高原の自然」「自然保護」講義後、北垣恵仁さんの「動物」と時田恵さんの「地形・地質」の野外実習を受けました。

6/22 シダ分類研修会



参加者17名。岡部恒彦さんを講師に講義と野外実習によりシダの分類法を学び、乙女高原に自生するシダ数種類を実際に観察しました。

6/22 アサギマダラ幼虫調査



参加者17名。アサギマダラの生態についてアサギマダラ調べ隊スタッフから説明を受けた後、実際にアサギマダラの幼虫を観察しました。幼虫調査は7月6日にも行いました(7名)。

6/29 第6期マルハナバチ調べ隊(兼案内人養成講座 第3日目)



雨のため中止しましたが、来てしまった8名にマルハナバチの生態について説明し、草原内を歩いて観察しました。

7/13 第4期乙女高原案内人養成講座 第4日目



受講者17名。スタッフ11名。「乙女高原の歴史」講義後、宮原孝男さんの「植物」と小松沢靖さんの「植物」の野外実習を受け、修了式を行いました。

7~8月 案内人自主活動



学校が夏休み中の土日を中心に案内人がボランティアで乙女高原を訪れた人を案内。計17日間にのべ117人の案内人が乙女高原を訪れた348人を案内しました。

8月3日 アサギマダラ調べ隊



アサギマダラをいったん捕まえ、印を付けた上で、どこかで再捕獲されることを願いながら再び放つというマーキング調査。参加者23名。マークしたアサギマダラは108頭でした。

8/10 マルハナバチ調べ隊



参加者16名。ラインセンサスは69頭という結果でした。なお、夏休みに行われた東京私学教育研究所の研修会にマルハナバチ調査プログラムを提供しました。

8月31日 アサギマダラ調べ隊



2回目のマーキング調査。参加者23名。マークしたアサギマダラ52頭。なお、今年、乙女高原でマークされたアサギマダラが兵庫県と高知県で再捕獲されました。

9/14 マルハナバチ調べ隊



参加者7名。ラインセンサスは16頭という結果でした。PR不足からか参加者が少なかったです。

11/23 第9回草刈りボランティア



3連休の中日だというのに、参加者は218名もありました。今回もビニールシートが草運びに大活躍でした。反省点として作業の安全管理が取り上げられました。

12/6 案内人反省意見交換会  
救急法講習会



参加者12名。午前中、山梨市民会館にて今年の案内人活動についての振り返りを行い、午後から山梨消防署で署員を講師に救急法講習会を開催しました。

1/20~29 乙女高原展



今年で4回目となる、山梨市民会館ロビーをお借りした展示。アサギマダラ調べ隊の報告パネルや乙女のシカ問題提起パネルなどをフォーラム開催に合わせて展示しました。

1/25 第8回乙女高原フォーラム



山梨市民会館ちどりの間にて。参加者88名。テーマは「シカが乙女高原の自然を変える?」。ゲストは奥多摩地域でシカによる植生変化を調査研究している東京農工大学の星野義延さん。

## 乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.7-8 乙女高原自然教育研究会主催の「乙女高原毎週自然観察会」開催。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.3 「乙女高原の森」連絡会議主催の「乙女高原を語る」パネルディスカッション開催。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

### 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足 発足記念映画会『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 第1回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは西丸震哉さん)西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞(受賞対象は乙女高原自然講座)
- 2003.2 第2回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは今井信五さん)インタープリテーション
- 2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート(03,04,05,08の4期)
- 2003.6 イタドリ刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。(毎年3回)
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会(筑波大学土壌環境化学研究室と共催)
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る!で、キッズボランティア開始
- 2004.1 第3回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは高橋佳孝さん)なんで草原を守るの?
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。(以後、毎年)
- 2004.6 **新事業**・イタドリ刈り開始。(2007年まで4年間)
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始(以後、毎年)
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.1 第4回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは国武陽子さん)劇団マルハナバチ
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催(以後、毎年)
- 2006.1 第5回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは北垣憲仁さん)乙女百名花,リレートーク
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.6 山梨県観光物産連盟より感謝状をいただく。
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.1 第6回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは南 正人さん)調べることで...
- 2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 全労済の助成金を活用し、マルハナバチのパンフレットを作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.1 第7回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは近藤記巳子さん)アサギマダラ
- 2008.4 ブログ「乙女高原フィールドノート」開始
- 2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート(マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲)
- 2009.1 第8回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは星野義延さん)シカ

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp  
ウェブページ <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号)0220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ